

授業科目	情報の理解と表現				単位	1		
履 修	選択	関連資格	栄教一種免		ナンバリング	NT10514J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP5-1			
担当教員	相良 かおる							
授業概要	<p>デジタルメディアを活用してプレゼンテーションを行う機会が増えている現代において、メディアの特性を理解し、相手に読みやすく、見やすく、魅力的なコンテンツを制作するスキルを身につけておくことはとても重要です。</p> <p>本授業では、テキスト、音声、画像、映像など各種メディアのコンピュータによる処理技術および表現技法を、講義および演習を通して修得し、「読みやすく、見やすく、魅力的なコンテンツ」を制作できるようになることを目指します。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. テキスト、音声、画像、映像の各種メディアのコンピュータによる処理技術の基本的知識について説明できる。</li> <li>2. コンテンツの制作に際し、マルチメディアを活用した表現技法を用いることができる。</li> <li>3. 人に情報が伝わるコンテンツ作りを意識して制作に取り組むことができる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	30	0	0	20	40	10	100	
知識・理解 (DP1-1)	30				30	5	65	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				20	10	5	35	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
行動目標全てを達成し、かつこれらを活用することができる。				行動目標全てを達成している。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	授業計画の説明とフォルダの整理 情報活用とメディア			講義・演習				

2	書体と文字 文字の表現技法の理解	講義・演習		適宜
3	文章と箇条書き 身近な文書資料を観察する。 (情報検索)	講義・演習	文書資料の作成	適宜
4	文書作成	講義・演習	文書資料の作成	適宜
5	図、グラフ、表による表現 図解とその種類 図、表、グラフを用いたレポートの作成	講義・演習	文書資料の作成	適宜
6	図、表、グラフによる表現 表とグラフによる表現	講義・演習		適宜
7	レイアウトと配色 レイアウトの目的 リーフレットの企画書作成	講義・演習	図、表、グラフを用いたリーフレットの作成	適宜
8	レイアウトと配色 配色の基本	講義・演習	図、表、グラフを用いたリーフレットの作成	適宜
9	画像・映像による表現技法	講義・演習	図、表、グラフを用いたリーフレットの作成	適宜
10	音声・音楽による表現技法 リーフレットの品評・相互評価	展示・品評・ 講義		適宜
11	情報発信 プレゼン用企画書の作成 動画・音声を使ったスライドの作成	講義・演習	発表内容を決め、資料を集め、スライドを作成する	適宜
12	情報発信 プレゼン用スライドの作成	講義・演習	スライドの作成	適宜
13	スライドによる口頭発表会・相互評価	口頭発表・品評・ 講義		適宜
14	ポスター発表資料作成	講義・討論	ポスターの作成	適宜
15	ポスター発表会・討論・相互評価 確認テスト	ポスター発表・ 品評・講義		適宜
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なコンピュータの操作(キーボードによる文字入力、マウス操作など)</li> <li>・オフィス系ソフト(Excel、PowerPoint)の基本的な操作</li> <li>・Web ブラウザの基本的な操作</li> </ul>			
テキスト	「伝わるデザインの基本 増補改訂版」技術評論社 (2016)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「デザイン入門教室[特別講義] 確かな力を身に付けられる ~学び、考え、作る授業~」Design&IDEA (2015)			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>本授業では、情報を相手に適切に伝えるための知識および表現するための技能と、表現する方法について学びます。そのため、授業時間外においても、自宅や大学の演習室等を利用して予習や復習を行ってください。</p> <p>また、グループワークでは、他の受講生とのコミュニケーションや積極的な授業参加が求められます。発信したいテーマについては、インターネットだけに頼らず、大学や公共の図書館、課外活動などの様々な機会を活用して、幅広く情報収集することを心がけてください。</p> <p>なお、受講生の理解や授業進度に応じて、授業計画を変更する場合があります。</p>			
達成度評価に関するコメント	<p>小テスト、レポートおよび発表のテーマの内容については、授業内で指示します。</p> <p>学生相互評価時に記入した点数やコメントについても、最終的な評価の対象となります。</p>			

